

## 2021年度ワーキンググループ活動報告書

(2021年6月～2022年5月)

2022年06月01日

### 1 ワーキンググループ活動計画

#### ☆ クラウドプライバシー WG

##### (1) ワーキンググループの目的

クラウド環境におけるプライバシーおよび個人データの保護および取り扱いに関して、グローバル及び日本の視点でガイドラインを出していくことを目的とする。CSA 本部では、PLA(Privacy Level Agreement)を公開し、EU データ保護指令や一般データ保護規則 (GDPR) に基づいて、クラウド上でプライバシー・データをどのように保護し取り扱うかに対するガイドラインを示している。また、日本においては、改正個人情報保護法が2017年5月30日に施行され、これに基づいて個人情報をクラウド上でどのように保護し取り扱うに関する指針が必要となっている。このような状況において、CSA ジャパンとして、クラウド環境におけるプライバシーの保護および取り扱いに対して、日本及びグローバルの観点から検討を行い、情報の公開を行っていくことを目的とする。

##### (2) 2021年度活動計画／目標

- 活動計画
  - (ア) CoC JP の年内公開。
  - (イ) 毎月1回定例会開催
  - (ウ) 必要に応じて各章ごとの分科会の開催

##### [2021年度活動実績]

- 活動状況
  - CoC\_JP の執筆 (2021/12月完成)
  - 改正個人情報保護法対応 (2021/12 ～)
- 課題
  - ワードの体裁を整えるスキルを持った人材が少ない

#### ☆ CCM/STAR ワーキンググループ

##### (1) ワーキンググループの目的

CSA グローバルの Cloud Control Matrix (CCM)の日本語化について、その監修および一般への公開を行う。また、日本語版をベースに、日本の法令、標準、基準の CCM へのマッピングを行うと共に、日本における CCM の展開のための啓発活動を推進することを目的とする。日本における STAR 認証の普及を推進する。また、27017等のクラウドセキュリティに対する STAR の位置づけを明確化するために、CSA 本部と協調して活動する。なお、本 WG は、既存の CCM WG と STAR WG を統一した。

##### (2) 2021年度活動計画／目標

- ISMAP タスクフォースと協調し、ISMAP と CCM のマッピング/リバースマッピングを完成し、公開する。また、CSA 本部からのリリースとすべくアプローチする。
- CCM V4 日本語版作成、公開。
- STAR Continuous の日本での展開。
- STAR 認証（特に Level-1）に対する日本のプロバイダの参画支援。

#### [2021 年度活動実績]

- 活動状況
  - CCM\_v4.0 と ISMAP\_v2021 とのマッピング表を CSA ジャパンとして作成 (2021/6/1 開始)
  - マッピング表の完成 (2022/5/末)
  - マッピング表の公開 (2022/6/吉日)。
- 課題
  - マッピングに関する 3 つの基準が更新され、次期 WG 活動の新たな課題となった。
    - ◇ ISMAP 管理基準が、v2022 年版として 2022 年 4 月に公開された。
    - ◇ CCM が、v4.0.5 として 2022 年 2 月 8 日に公開された。
    - ◇ CAIQ-Lite が、v3.0.1 として 2022 年 4 月 7 日に公開された。

#### ◇ CASB ワーキンググループ

##### (1) ワーキンググループの目的

IaaS/PaaS/SaaS のクラウド利用増加に伴い、クラウドアクセスの制御、可視化、クラウド環境設定の監査とガバナンスの強化、脆弱性の管理や、最近顕在化している SaaS の設定ミスによる情報漏洩などの様々な課題が増えてきています。この WG ではこれら課題解決を目指すために、クラウドセキュリティを学び、情報を交換し、できるだけそれらを分かりやすく外部に発信していくことを目的とします

##### (2) 2021 年度活動計画／目標

- 活動計画
  - 月 1 回程度の定例会の実施による情報交換
  - SSPM 勉強会の実施 (6 月)
  - 関連ブログの作成 (目標は本 WG から 3 本)
- その他
  - 定例参加者が激減しているため、Slack 以外のツールを利用した呼びかけを検討

#### [2021 年度活動実績]

- 活動状況
  - CASB の普及については一定の認知度に達しているため、現在は枠を広げて CSPM/CWPP/SSPM に関連した情報交換・活動方針のディスカッションを月 1 回実施
  - チームでのアウトプットは、計画を続けているものの無し。ただし、本 WG から CSA 勉強会の講師を派遣

「SaaS の設定を可視化、監査する SSPM とは？」 (2021/6/25)

- 昨今の SaaS 利用増加に伴い、よりセキュアに SaaS を利用・運用できるようなベストプラクティス（特にセキュリティレベルチェック）についてディスカッションを継続
- 課題
  - 定例会への参加が特定メンバー（2～3名程度）で少なく、活発な情報交換が行えていない
  - WG 名と活動内容が一致しなくなっている。

◇ IoT クラウドサービスワーキンググループ

- (1) ワーキンググループの目的  
IoT（もしくは M2M）、とりわけスマート家電などに対して、クラウドから提供される各種サービスへの脅威とその対策について検討、提言を行う。
  - (2) 2021 年度活動計画／目標
    - IoT セキュリティ コントロールフレームワーク バージョン 2 の WG メンバーによるスタディーの実施。WG 内で、IoT セキュリティの知識を深める。
    - IoT セキュリティ コントロールフレームワーク バージョン 2 の解説に取り組む。勉強会の実施あるいはガイダンス文書の作成に取り組む。
- [2021 年度活動実績]**
- 活動状況
    - IoT セキュリティコントロールフレームワーク V2 翻訳公開（2021/5/30）
    - IoT Control Matrix V2 を輪講形式で WG 内で勉強会実施
    - IoT Control Matrix V3 および Guide to the CSA IoT Controls Matrix v3 の翻訳に着手
  - 課題
    - 特になし

◇ 健康医療情報管理ユーザーワーキンググループ

- (1) ワーキンググループの目的  
CSA-JC 健康医療情報管理ユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Health Information Management Working Group の活動に準拠して、患者／生活者中心の視点から、健康医療分野のクラウド利用に係るセキュリティ／プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、エンドユーザー向けのクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。
- (2) 2021 年度活動計画／目標
  - 国内活動
    - ライフサイエンス／医薬品／医療機器産業、医療機関／介護施設／健康増進サービス事業者、患者／消費者を含む健康医療情報バリューチェーン全体における CSA ガイダンス、CCM、STAR 認証、医療機器／遠隔医療セキュリティガイダンス、IoT セキュリティガイダンス、アプリケーションコンテナ／マイクロサービス／サーバーレス・ガイダンス等の有効活用の推進活動
    - CSA のワーキンググループが主導する CSA ガイダンス、CCM およびその他発行情書類（例、IoT セキュリティガイダンス）に関する、業界の視点に立ったピアレビューの

#### 実施およびフィードバックの提供

- 健康医療情報に関わる国内外の主要なステークホルダーコミュニティ（例、フォーカスグループ、業界団体、研究機関、フォーラム、学術団体など）との積極的な協業活動
- 上記に関する周知、認知、研究の機会を計画／実行するために、関西支部との連携を強化する
- グローバル活動
  - CSA HIM-WG のグローバル活動への積極的コミットメント
  - CSA 海外チャプターとの連携活動強化（例：中国、東南アジア、インド、EMEA）
- 関西支部との連携強化活動～関西ヘルスケア業界&製造業界におけるクラウドセキュリティ啓発活動
  - CSA Health Information Management WG の成果物を活用した紹介ブログと勉強会の連載企画を展開する

#### [2021 年度活動実績]

##### ● 国内活動

- ブログ実績：年間 9 本公開
  - ◇ 医療における AI 利用とクラウド（後編）（2022 年 5 月 7 日）
  - ◇ 医療における AI 利用とクラウド（前編）（2022 年 4 月 25 日）
  - ◇ 医療クラウドにおけるランサムウェア攻撃予防対策（後編）（2022 年 2 月 26 日）
  - ◇ 医療クラウドにおけるランサムウェア攻撃予防対策（前編）（2022 年 2 月 26 日）
  - ◇ クラウドにおける遠隔医療のデータリスク管理（2021 年 12 月 27 日）
  - ◇ 医療におけるブロックチェーン利用（2021 年 11 月 1 日）
  - ◇ クラウドにおける医療ビッグデータのプライバシー保護／セキュリティ管理（後編）（2021 年 2021 年 8 月 23 日）
  - ◇ クラウドにおける医療ビッグデータのプライバシー保護／セキュリティ管理（前編）（2021 年 8 月 15 日）
  - ◇ クラウド接続した医療機器のサイバーセキュリティ対策（2021 年 6 月 22 日）
- ワークショップ実績：年間 5 回開催
  - ◇ 第 5 回 CSA 関西・健康医療 WG 公開ワークショップ  
「中小組織のセキュリティ対策と医療ランサムウェア」（2022 年 4 月 12 日）
  - ◇ 第 4 回 CSA 関西・健康医療 WG 公開ワークショップ  
「遠隔医療のインシデント対応とデータリスク管理」（2022 年 1 月 26 日）
  - ◇ 第 3 回 CSA 関西・健康医療 WG 公開ワークショップ  
「医療におけるブロックチェーン利用」（2021 年 11 月 22 日）
  - ◇ 第 2 回 CSA 関西・健康医療 WG 公開ワークショップ  
「クラウドにおける医療ビッグデータのプライバシー／セキュリティ」（2021 年 9 月 29 日）
  - ◇ 第 1 回 CSA 関西・健康医療 WG 公開ワークショップ  
「クラウド接続した医療機器のサイバーセキュリティ対策」（2021 年 7 月 28 日）
- 展示会出展実績：

- ◇ 「ファーマ IT&デジタルヘルスエキスポ 2022」  
展示期間：2022年4月20日（水）～22日（金）  
展示会場：東京ビッグサイト

- グローバル活動

- 成果物：年間9本公開

- ◇ 「Healthcare Supply Chain Cybersecurity Risk Management」  
(2022年5月11日発行)
- ◇ 「Artificial Intelligence in Healthcare」(2022年1月6日発行)
- ◇ 「CSA Medical Device Incident Response Playbook」(2021年11月8日発行)
- ◇ 「Information Technology Governance, Risk and Compliance in Healthcare」  
(2021年10月15日発行)
- ◇ 「Ransomware in the Healthcare Cloud」(2021年9月15日発行)
- ◇ 「Protecting the Privacy of Healthcare Data in the Cloud」(2021年8月10日発行)
- ◇ 「The Use of Blockchain in Healthcare」(2021年7月15日発行)
- ◇ 「Healthcare Cybersecurity Playbook - An Evolving Landscape」(2021年7月14日発行)
- ◇ 「Telehealth Risk Management」(2021年6月10日発行)

- CSA Health Information Management WG call

ミーティング実績：年間23回開催

- ◇ 2022年5月26日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2022年5月12日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2022年4月28日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2022年4月14日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2022年3月31日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2022年3月17日（木）4:30am～5:30am
- ◇ 2022年3月3日（木）4:30am～5:30am
- ◇ 2022年2月17日（木）4:30am～5:30am
- ◇ 2022年2月3日（木）4:30am～5:30am
- ◇ 2022年1月20日（木）4:30am～5:30am
- ◇ 2022年1月6日（木）4:30pm～5:30pm
- ◇ 2021年12月9日（木）4:30pm～5:30pm
- ◇ 2021年11月11日（木）4:30pm～5:30pm
- ◇ 2021年10月28日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2021年10月14日（木）3:30pm～4:30pm
- ◇ 2021年9月30日（木）3:30pm～4:30pm
- ◇ 2021年9月16日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2021年9月2日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2021年8月19日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2021年8月5日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2021年7月22日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2021年6月24日（木）3:30am～4:30am
- ◇ 2021年6月10日（木）3:30am～4:30am

- **課題**

- 本年度は、CSA 関西支部との共同活動として、ブログ執筆（年間 9 本）やワークショップ開催（年間 5 回）を通じて、CSA HIM WG 発行物の内容を紹介したが、それ以上にグローバルの活動が活発で、なかなかキャッチアップできないでいる。

◇ クラウドセキュリティワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

クラウドセキュリティ WG は、CSA ジャパンにおける他のワーキンググループが扱わない事項や、マクロなクラウドセキュリティについて等を題材にし、世に有効に活用できる情報を発信する。

(2) 2021 年度活動計画／目標

- DevSecOps におけるユースケースの公開
- アーキテクチャフレームワークのセキュリティ解説書の作成
- AWS/Azure Well-Architected Framework、GCP アーキテクチャフレームワークのセキュリティ部分にフォーカスした解説書。

[2021 年度活動実績]

- 月次での活動日をベースとして、継続的に活動中。
- 2021 年 10 月 25 日に“クラウド重大セキュリティ脅威対策 -DevSecOps のユースケース - “を公開。
- 2022 年 5 月現在、“(仮)グローバルクラウドのセキュリティアーキテクチャレビュー虎の巻”の作成と” Secure DevOps and Misconfigurations”の翻訳に取り組んでいる。

◇ SDP ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

SDP ワーキンググループは、日本における SDP の普及に向け、テクノロジーおよびビジネスへの適用について幅広く議論し情報提供を行う。

(2) 2021 年度活動計画／目標

- AWS 上に構築した SDP のラボ環境を用いて、スタディーの実施、技術資料の公開を行う。
- ラボを幅広く利用できる環境を整える。

[2021 年度活動実績]

- **活動状況**
  - **SDP Specification V2**
    - ◇ レビュー・フィードバックを実施。
    - ◇ 日本語版翻訳公開
  - **LAB 活動**
    - ◇ SDP オープンソースを用いて、AWS 上に SDP ラボ環境を構築
    - ◇ SDP ラボ環境について、WG 内技術情報の共有を実施
  - **Integrating SDP and DNS: Enhanced Zero Trust Policy Enforcement**
    - ◇ ピアレビュー参加
    - ◇ 日本語翻訳版公開

➤ **Authenticate Before Connect Consortium “ABCC” (接続前認証推進協議会)**

◇ **設立準備中**

● **課題**

➤ **SDP そのものの周知がなかなか進まない。**

◇ **アプリケーションコンテナ&マイクロサービス・ワーキンググループ**

(1) **ワーキンググループの目的**

アプリケーションコンテナ&マイクロサービス (ACM) ワーキンググループは、グローバルレベルで、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する基本的な調査研究を行い、セキュアなアプリケーションコンテナおよびマイクロサービス利用のためのガイダンスやベストプラクティスを発行するとともに、日本国内レベルでは、クラウドサービスのユーザー/コンシューマー向けに、アプリケーションコンテナおよびマイクロサービスのセキュリティに関する啓発活動を行うことを目的とする。

(2) **2021 年度活動計画/目標**

● **国内活動**

- 本ワーキンググループは、日本クラウドセキュリティアライアンスのインディビジュアル/コーポレート/アフィリエイトメンバーからのボランティアによって構成される。
- 本ワーキンググループは、運営委員会の下で、主要なプロジェクトマネジメント、オンラインワークプレイス、テクニカルライティング支援、日本クラウドセキュリティアライアンス理事会への報告をコーディネートする。
- これらに関連する周知、認知、研究の機会を計画/実行するために、関西支部や、他の WG、各種団体・メディアとの連携活動を強化する。

● **グローバル活動**

- CSAACM-WG のグローバル活動への積極的コミットメント
- Health Information Management WG、IoT EG、DevOps WG 等、コンテナ/マイクロサービスを共通基盤とする他の WG との連携活動強化
- CSA 海外チャプターとの連携活動強化 (例：中国、東南アジア、インド、EMEA)

● **その他**

- オンライン中心の活動から、オンライン/オフラインのハイブリッド型活動に移行するための会場やコミュニケーションツールの準備が必要

**[2021 年度活動実績]**

● **国内活動**

➤ **成果物：**

**[日本語翻訳版]**

◇ **2022 年 1 月 29 日(土)**

**安全なサーバーレスアーキテクチャを設計するには」(CSA Serverless WG)**

**[プレゼンテーション公開資料 (PowerPoint) ]**

◇ **2022 年 5 月 2 日 (月)**

**「NISTIR 8320B ハードウェア対応セキュリティ：信頼されたコンテナプラットフォームにおけるポリシーベースのガバナンス」概説**

- ◇ 2022年3月28日(月)  
「NIST SP 800-204C サービスメッシュを利用したマイクロサービスベースアプリケーション向け DevSecOps の展開」概説
- ◇ 2021年6月29日(火)  
「NISTIR 8320A ハードウェア対応セキュリティ：コンテナプラットフォームのセキュリティプロトタイプ」概説
- ◇ 2021年6月23日(月)  
「ニューノーマルセキュリティ ～進化するクラウド環境におけるデータセキュリティの勘所」(Thales Accelerate 2021 Crypto Live Japan)

- グローバル活動

- [Application Containers & Microservices WG]

- 成果物

- ◇ 2021年8月31日「Microservices Architecture Pattern」

- ミーティング実績

- ◇ 2021年6月18日(金) 02:00am - 03:00am
      - ◇ 2021年6月4日(金) 02:00am - 03:00am

- グローバル活動

- [DevSecOps WG]

- 成果物

- ◇ 2022年2月8日「DevSecOps - Pillar 4 Bridging Compliance and Development」
      - ◇ 2021年11月18日「Secure DevOps and Misconfigurations Survey Report」

- ミーティング実績

- ◇ 2022年5月12日(水) 00:00am - 01:00am
      - ◇ 2022年1月14日(金) 00:00am - 01:00am
      - ◇ 2021年8月18日(水) 00:00am - 01:00am
      - ◇ 2021年7月16日(金) 02:00am - 03:00am

- [DevSecOps WG]

- 成果物

- ◇ 2022年4月19日「C-Level Guidance to Securing Serverless Architectures」
      - ◇ 2021年9月14日「How to Design a Secure Serverless Architecture」

- ミーティング実績

- ◇ 2022年5月21日(金) 01:00am - 02:00am
      - ◇ 2022年5月14日(金) 01:00am - 02:00am
      - ◇ 2022年4月30日(金) 01:00am - 02:00am
      - ◇ 2021年7月23日(金) 01:00am - 02:00am
      - ◇ 2021年7月16日(金) 01:00am - 02:00am
      - ◇ 2021年7月2日(金) 01:00am - 02:00am
      - ◇ 2021年6月18日(金) 01:00am - 02:00am

- 課題

- グローバルレベルでは、Application Containers & Microservices WG、Serverless WG が、「Microservices Architecture Pattern」発行後、DevSecOps WG に統合さ

れた。その後、DevSecOps WG のサブグループとして活動している。他方、DevSecOps WG とは別個に、Serverless WG が、サーバーレスアーキテクチャや FaaS(Function as a Service)のセキュリティに関するドキュメントを作成した。

- 国内レベルでは、サーバーレスセキュリティに関するドキュメントの日本語翻訳版を作成したほか、CSA と連携する NIST よりコンテナ/マイクロサービス関連のドキュメントが公開されたのを受けて、各ドキュメントの概説資料 3 本を作成した。新型コロナウイルス感染症緊急対応の影響で、リアルの場における勉強会については、開催していない。

#### ◇ データセキュリティ ワーキンググループ

##### (1) ワーキンググループの目的

クラウド上のデータ保護として、アクセス管理、暗号化、鍵管理、モニタリング等の推奨事項が記載されているが、プロバイダのデータ保護対策の内容の把握、利用者側で取るべき対策、プロバイダが提供するデータ保護の機能の利用など、具体的な対応方法をガイダンスから読み解くことが難しい状況である。データセキュリティ WG では、このような課題に対してよりわかりやすい技術的な解説を行い、ガイダンスのデータ保護に関する解説書的な位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指す。

##### (2) 2021 年度活動計画／目標

- クラウドデータセキュリティガイドの公開
- 上記アウトプットを出した後一区切りとする。今後の方針は、メンバーと協議するが、活動の終了もある。

##### [2021 年度活動実績]

- 「Cloud Data Protection」を公開（2021 年 8 月 2 日）
- ブログ「データの暗号化における利用者鍵管理について」を公開（2022 年 2 月 9 日）

#### ◇ 翻訳ワーキンググループ

##### (3) ワーキンググループの目的

翻訳ワーキンググループ（翻訳 WG）は、CSA 本部が公開する様々な資料の日本語翻訳をドライブするとともに、CSA ジャパンの翻訳プロセスそのものを改善していくことを目的とし以下の活動を行う。

- 翻訳作業のドライブ  
CSA 本部が公開する資料のうち、どの資料を翻訳するかを決定  
翻訳を行うにあたって、CSA ジャパン会員よりボランティアを募集  
翻訳作業、スケジュール管理、翻訳版公開の一連の作業をドライブ
- 翻訳プロセスの改善  
機械翻訳機能の利用の検討  
翻訳差分機能の利用の検討（英語版の前のバージョンからの変更と翻訳の変更を管理できるツール）  
訳語集の作成  
既存翻訳資料の見直し（各WGとの連携あり）

#### (4) 2021 年度活動計画／目標

- 2021 年度開始 WG であるため、活動計画については上記目的を参照。

#### [2021 年度活動実績]

- 翻訳タスクフォースの後継として、翻訳 WG を開始した。
- 次の CSA 文書を和訳し発行した。下記のリストは 2021 年 1 月以後について翻訳タスクフォースで実施した成果物を含む。
  - 「安全なサーバーレスアーキテクチャを設計するには」  
原題：「How to Design a Secure Serverless Architecture」
  - 「クラウドサービスの鍵管理」  
原題：「Key Management in Cloud Services」
  - 「セールスフォースのための重要なコントロールの実装」  
原題：「Critical Controls Implementation for Salesforce」
  - 「サーバーレスアプリケーションのための最も重大な 12 のリスク（2019 年）」  
原題：「The 12 Most Critical Risks for Serverless Applications 2019」
  - 「クラウド環境におけるセキュリティリスク、コンプライアンス、設定ミス の状況」  
原題：「Cloud Threat Model in The State of Cloud Security Risk, Compliance, and Misconfigurations」
  - 「クラウド脅威モデリング」  
原題：「Cloud Threat Modeling」
- 翻訳メモリツール” Memsorce” を導入し、機械翻訳エンジンと翻訳メモリ機能による日本語下訳の自動生成に利用を開始した。
  - 契約中の Memsorce ライセンスでは、機械翻訳エンジンバックエンドとして、DeepL, Google Translate, Microsoft Translate, Amazon Translate, Rozetta 等の外部エンジンが統合されており、固定料金で上限なしに翻訳ジョブを実行可能となった。

#### [課題]

- WG リーダーや参加者の本来業務繁忙期は進捗が遅れることは仕方がないが、打開策として集合型（Teams でのバーチャル）を都度招集せず、多くのコミュニケーションは Slack 等を用いて電子的かつバーチャルに作業進行できるように進めている。
- プロジェクト管理、課題管理、用語集管理等が Excel スプレッドシートを用いて行われているため、若干の煩雑さがある。無償利用できる範囲で、オンラインツール等の導入を検討している。

#### ☆ ガイダンス WG

##### (1) ワーキンググループの目的

ガイダンスワーキンググループは、CSA ジャパンが提供しているガイダンスの翻訳版を用いてクラウドセキュリティについて学ぶとともに、現ガイダンスの翻訳および訳語のレビューを行い、次期バージョンの翻訳品質の改善に向け幅広く議論し情報提供を行う。

##### (2) 2021 年度活動計画／目標

- 活動計画
  - 活動計画、目標設定は困難と判断し、計画立案を見送る
  - 東京電機大学特別講義は、WG とは切り離して担当者グループのタスクとして取り組

む。

- その他
  - 一度休止または廃止してリセットし、次のテーマが出たときに再度募集すべきか。
- 

**[2021 年度活動実績]**

- 活動状況
  - 活動休止中

◇ SLA-Innovation WG

(1) ワーキンググループの目的

CSAJC SLA イノベーションワーキンググループは、CSA EMEA の SLA-Ready および関連する地域連携活動に準拠して、標準化と透明性の視点から、クラウドセキュリティの SLA (Service Level Agreement) に関する基本的な調査研究を行い、潜在力のある中小企業・小規模事業者や地域のイノベーションコミュニティ向けに、クラウドサービス利用時のセキュリティ/プライバシー保護に関する啓発活動を推進することを目的とする。

(2) 2021 年度活動計画/目標

- 活動休止

**[2021 年度活動実績]**

- 活動休止中

◇ Blockchain ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

Blockchain ワーキンググループでは、Blockchain についてクラウド上で分散台帳を保管する際のセキュリティ要件を含めたクラウド環境の選定基準の観点から研究を行う。2017 年 1 月 17 日にスタート。

1. クラウド上で分散台帳を保管する際のセキュリティ要件を含めたクラウド環境の選定基準を研究し、ガイドラインとして取り纏め、公表する。
2. CSA 本部の BlockChain/Distributed Ledger WG (※以下、Blockchain WG) 及び Internet of Things WG (※以下、IoT WG) と協調して活動する。両 WG からの情報をもとに、日本への情報提供を行う。
3. ベンダー主導のブロックチェーン/分散台帳の研究成果を CSA 本部の BlockChain WG に提案していく。

(2) 2021 年度活動計画/目標

- まず WG を開催し、今後の方針の検討を行う。

**[2021 年度活動実績]**

- 活動状況
  - 休止中

◇ ビッグデータユーザーワーキンググループ

(2) ワーキンググループの目的

CSA-JC ビッグデータユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Big Data Working Group の活動に準拠して、データ中心の視点から、エンドユーザー向けに、ビッグデータにおけるセキュリティ/プライバシー保護を支援するための基本的な調査研究を提供し、ビッグデータ環境のクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(3) 2021 年度活動計画/目標

- 活動休止

[2021 年度活動実績]

活動休止中

◇ モバイルユーザーワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

CSA-JC モバイルユーザーワーキンググループは、CSA グローバルの Mobile Working Group の活動に準じて、クラウド中心の視点から、エンドユーザー向けにセキュアなモバイルデバイスコンピューティングを支援するための基本的な調査研究を提供し、モバイル環境のクラウドセキュリティに関する啓発活動を推進することを目的とする。具体的な活動に際しては、一般社団法人日本クラウドセキュリティアライアンスにおける各ワーキンググループおよびその他のイニシアティブとの連携を図るものとする。

(2) 2021 年度活動計画/目標

- ① 活動休止

[2021 年度活動実績]

活動休止中

◇ ICS ワーキンググループ (CSA 本部 WG)

(1) 2021 年度活動計画/目標

- 活動休止

[2021 年度活動実績]

- 活動休止

◇ SDN ワーキンググループ

(1) ワーキンググループの目的

SDN ワーキンググループは、SDN を技術的に解説し、SDN のクラウドへの利用方法および優位性を解説し、ガイダンスでは理解しきれない点をカバーしていくことで、ガイダンスに関する SDN の解説書的位置づけとなるようなアウトプットの作成を目指して活動していく。

(2) 2021 年度活動計画/目標

- 活動計画  
未定

- その他
  - 以下のような案で WG 活動の見直しを検討したいと考えます。
    - ◇ WG 活動の休止
    - ◇ 他の WG との吸収合体
  - WG リーダーの変更

**[2021 年度活動実績]**

- 活動状況
  - 活動休止中

以上